

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2005-224626 (P2005-224626A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-033
 【出願番号】特願 2005-134169 (P2005-134169)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 13 日 (2006.10.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

種々の表示内容を連続的に変化させつつ表示し得る 1 又は 2 以上の表示手段と、その表示手段に前記表示内容を固定的に表示させるための表示固定手段とを有し、前記表示手段が固定的に表示した表示内容が所定の入賞条件を達成することと入賞とが対応するゲームを実行する遊技機であって、

内部当り設定手段と、報知手段と、疑似内部当り設定手段を備えており、

前記内部当り設定手段は、所定条件である内部当り条件の達成によって、その内部当り条件に対応する賞について内部当り状態を設定するものであり、

前記報知手段は、内部当りの対象となる賞である内部当り対象賞のうち一部又は全ての賞である特定の賞に内部当り状態が設定されていることを示す確定報知及び前記特定の賞に内部当り状態が設定されている可能性があることを示す可能性報知をそれぞれ遊技者に対し行うものであり、

前記疑似内部当り設定手段は、前記特定の賞について内部当り状態の設定がない場合に、所定条件である疑似内部当り条件の達成によって、疑似内部当り状態を設定するものであり、

前記特定の賞について内部当り状態が設定された場合の全部又は一部においては、前記報知手段は、その特定の賞に入賞するまでの間のゲームにおいて、特定の賞について内部当り状態の設定がない場合に疑似内部当り条件を達成する率よりも高い所定の率で可能性報知を行ない、それ以下の所定の率で確定報知を行い、

疑似内部当り状態が設定された場合に、1 以上の所定回数のゲームにおいて報知手段が可能性報知を行い、その後のゲームにおいて、特定の賞について内部当り状態の設定がない場合に疑似内部当り条件を達成する率よりも高い所定の率で報知手段が可能性報知を行ない、それ以下の率であって特定の賞について内部当り状態の設定がない場合に疑似内部当り条件を達成する率よりも高い所定の率で疑似内部当り設定手段が疑似内部当り状態の解除を行なうものであり、

前記特定の賞は、内部当り状態が設定されていても入賞が確実ではなく、その内部当り状態が、所定の複数回のゲームにおいて入賞するまでの間又は入賞するまでの何回のゲームにおいても継続されるものであることを特徴とする遊技装置。